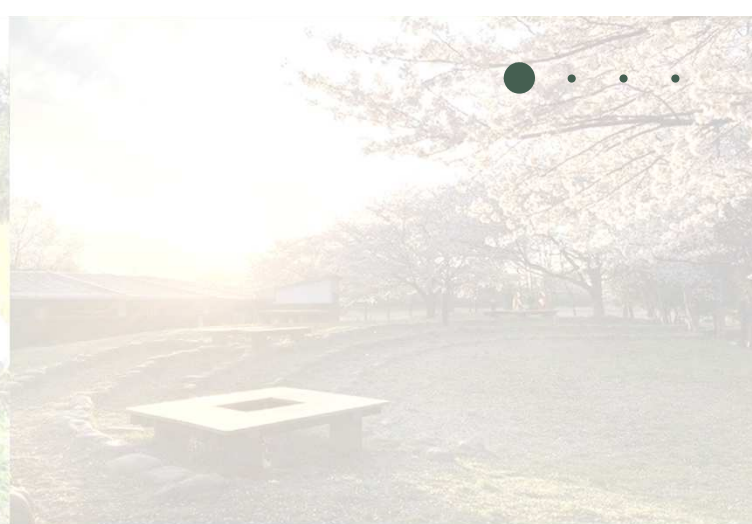


新しい村魅力アップ方針（案）

宮代町産業観光課



魅力アップの考え方



「魅力アップ」の考え方

現状分析やニーズ調査から導き出された個性を伸ばし、時代に合った新たな機能を導入して、持続的な運営を行うことが、新しい村の魅力を高めていく。新しい村の魅力を発信することは、町の魅力発信にもつながる。

新しい村の「魅力アップ」の考え方

新しい村の個性を引き出す



新しい村の役割・機能の整理

時代に合った新たな機能の導入



サービスの新規導入

従来の機能を維持・強化



施設の補修・改修・整備

持続的運営、持続的発展



管理・運営・事業形態の改編

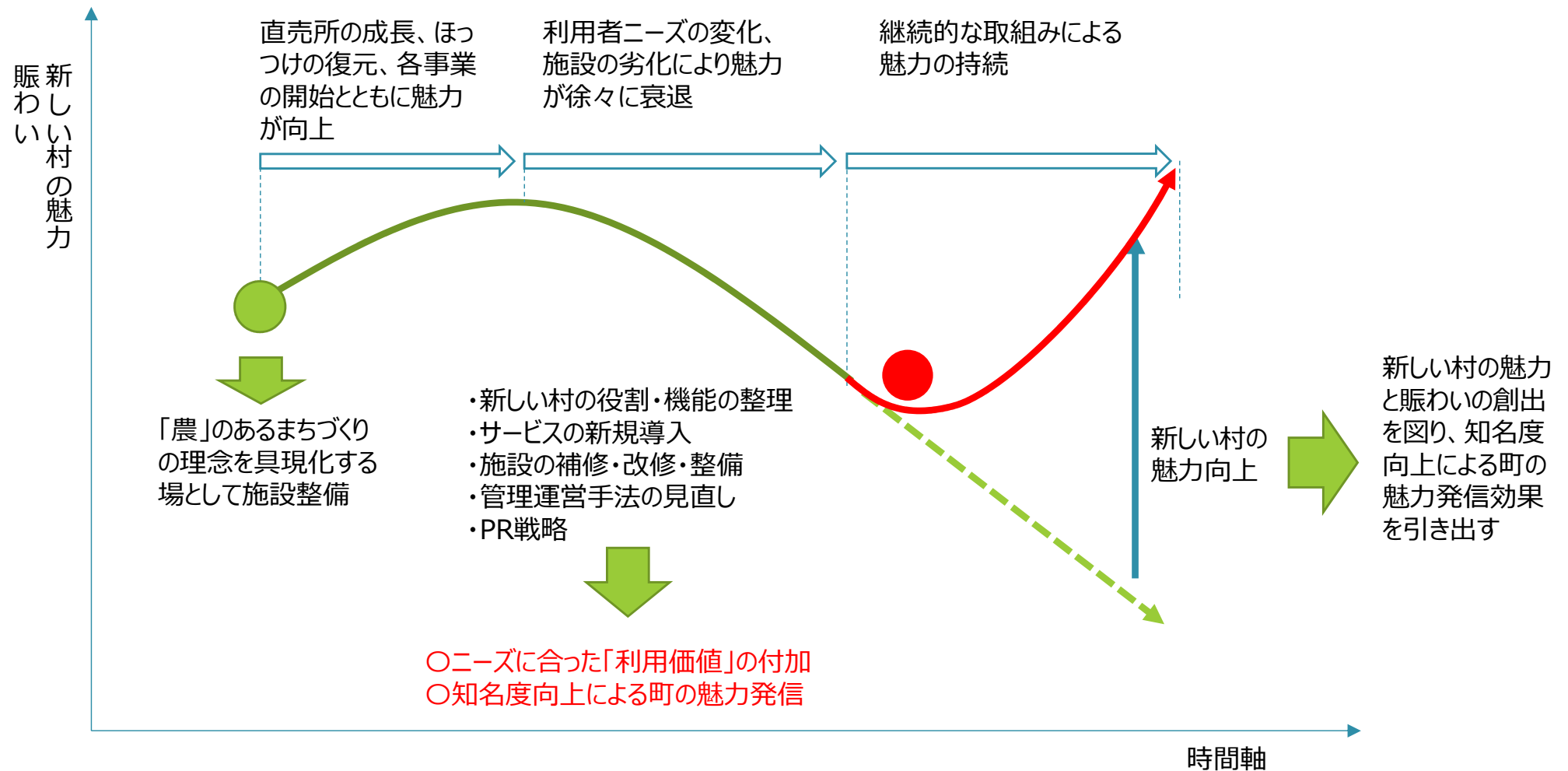
町の魅力発信拠点

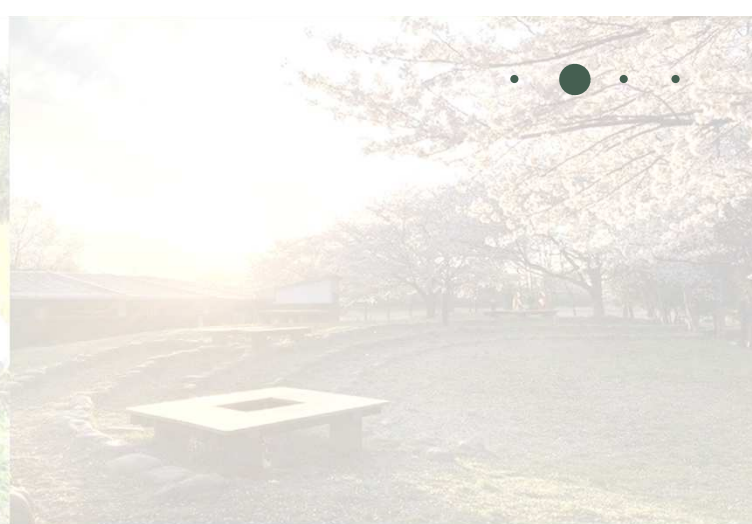


知名度向上のためのPR戦略

魅力アッププランの役割

ニーズに合った継続的な利用価値の付加と、魅力の発信





魅力アップ方針（案）



新しい村の抱える課題のまとめ

機能 ・サービス

宮代の自然と共生するデザイン

- 施設全体の**リニューアル**
- 魅力的な自然に囲まれ、くつろげる空間づくり
- 自然の中で子どもが自由に遊べる
- 新しい村や遊歩道を生かした**周回コース**や、**花見の場**としての整備

既存機能の高質化

- **トイレ**や**駐車場**を中心とした設備更新
- 選ばれる農作物としての**質・量の確保**
- **宮代ブランド**を発信する直売所や里山景観を楽しめるカフェ等の飲食店機能の拡充
- 生産者と消費者の交流が促進されるしかけ

コアユーザーに向けた機能強化

- **宿泊施設**需要に応えるための自然環境を活かしたキャンプやコテージ、グランピング施設導入
- 農体験とプログラムを合わせた機能拡充
- **ライト層の需要**に応えるための直売所や家庭菜園・市民農園、加工施設の充実

プログラム

既存サービスの高質化

- 宿泊機能の導入にあわせた宿泊型の**農体験プログラム**等、多様な農へのニーズに対応したプログラムの充実
- 自然環境を活かした、**通年**でのプログラムや**四季**を感じられるイベントの充実
- 生産者も消費者も活動しやすい**ルールづくり**

人材育成

農家・就農支援の継続

- 後継者や運営者等の人手不足解消のための**マッチング機能**の強化
- 就農者やライト層、子供等**幅広いニーズ**に合わせた**育成機能**や**農業教室**

連携

地域資源との連携

- 東武動物公園等の周辺施設との**連携のあり方**についての検討

PR

体験がイメージできるPR

- 積極的な**PR戦略の検討**、施設の活動やイメージにつながる**キャッチコピー**の検討

魅力アップのために必要なポイント

1

宮代の自然と
共生するデザイン

山崎山などの手つかずの自然と、水田などの手入れが必要な自然を守りながら、ゆとりある**自然の中での時間を満喫**し、ウェルビーイングを向上させる**デザイン性の高い空間**づくり

2

既存機能・
サービスの高質化

既存の機能（直売所、カフェ、体験農園、市民農園等）の**高質化**による家族で遊びに来ることができる施設としてのポジションの確立

3

コアユーザーに
向けた機能強化

趣味的に農に触れている人のステップアップや将来的に就農を希望する人等、**コアユーザーとなる層に向けた、農関連機能の導入**による類似施設との差別化

4

農家・就農支援
の継続

農家に向けた**生産活動支援の継続実施**、**就農支援**による持続可能性の高い農の実現

5

地域資源との連携

東武動物公園や笠原小学校、桜並木などの**宮代町の持つ地域資源との連携**

6

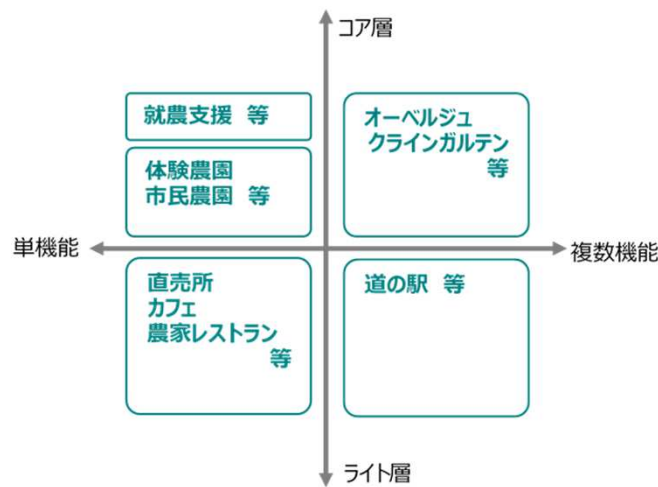
体験がイメージ
できるPR

施設や利用のイメージができるキャッチコピー及びPR戦略

狙うべき市場内のポジショニング

セグメンテーション

- 農体験関連市場を、提供する機能が単一か複数か、コア層向けかライト層向けかで細分化



市場の再分化

ターゲティング

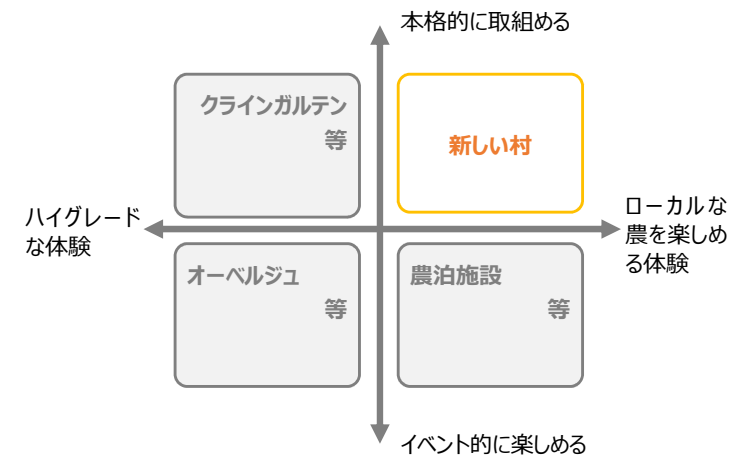
- ニーズの高い既存の機能を活かしつつ、競合の少ない、**コア層を取込む機能を含む複数機能を有する農体験市場**をターゲットとする



再分化した中からターゲットを設定

ポジショニング

- 都心部からのアクセス性を活かした本気で挑戦するにも**通いやすく**、それでいて宮代らしい**ローカルな自然環境・農資源を楽しめる**特徴を活かした、ポジショニングを図り、競争優位性を高める



ターゲットの中でのポジションを明確化

論点3

コンセプト（案）

本気で取組む、気軽に楽しむ 農体験フィールド

- 従来の、宮代の資源や農資源を活かした地域コミュニティの交流及び観光拠点としての機能を維持・強化するとともに、**本気で農を志す人を応援**するために、趣味としてのステップアップや将来の就農につながる支援機能を強化・導入し、必要に応じて耕作放棄地や遊休地を活用した敷地の拡大を図ることで、都市部からも通える豊かな自然環境の中で、**ライト層からコア層まで農を実践できる、体験フィールド**として整備を進めます。



魅力アップ方針（案）



方針1：農にチャレンジできる、楽しめる場の形成

- これまで提供してきた、農体験や市民農園等の**既存機能の充実・高質化**を図るとともに、都心部からの近接性を活かして、**農にチャレンジできる場**として、機能強化を図ります。
- 豊かな自然の中での時間をより楽しめるように、宿泊機能や周辺施設との連携強化による**滞在型の利用促進**を図ります。

方針2：安心して快適に利用できる空間づくり

- 老朽化する施設・設備の更新や、**バリアフリー化、ユニバーサルデザイン**により誰もが安心して快適利用できる施設に更新します。
- デザインコードを設定し、各施設やサイン等を統一したデザイン**を採用し、豊かな自然環境の中に映える施設として更新します。

方針3：周辺施設との連携とPR力の強化

- 関東圏においても9割以上が知らない施設であることから、**名前やどういった場であるかをまず知ってもらう**ために、**キャッチコピーの設定等のPR**を戦略的に展開します。
- 東武動物公園や笠原小学校、無印良品等の**周辺施設と連携**による**エリア全体としての更なる魅力アップ**を図ります。